

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第21回研修を開催しました！

令和7年11月22日（土）に、盛岡市観光文化交流センターPLAZAおでってにおいて、いわて新農業人チャレンジファーム第21回研修を開催しました。

今回は、今年の受講生の皆様に加え、本研修の修了生の皆様にもご参加いただき、修了生との交流を通じて学びを深める「オープン講座」形式で実施いたしました。

研修の前半は、株式会社佐藤政行種苗日詰営業所の佐藤俊文氏、畠山佳大氏を講師にお招きし、「野菜作りは”種”選びから！！失敗しない野菜の種選び 人気品種の選定とコツ」と題した講義を実施しました。プロならではの視点で、栽培環境や目的に合わせた種選びの基本、来春に向けたおすすめ品種情報を解説いただき、参加者は「種選び」の重要性を再認識しました。

講義の後半は、修了生の皆様による事例発表会と交流会を実施しました。



講義の様子

今回は、令和4年度修了生の更科直樹氏と、令和5年度修了生の望月敬三氏のお二方から現在の取り組みについてお話をいただきました。更科氏は研修修了後にぶどう農家として独立を果たされています。望月氏は農業関係団体に勤務する傍ら、オリジナルのパン作りを目指して小麦やブドウの栽培に取り組まれています。

お二人からは、就農に至るまでの経緯や、現在の経営状況、苦労話、販路開拓の成功事例など、多様な関わり方を示す「生の声」が発表されました。受講生からは具体的な質問が多く出され、経験者との活発な情報交換を通じて、技術面だけでなく、農業への多様な関わり方や地域でのネットワーク構築においても大変有意義な交流の場となりました。

次の第22回研修は、令和7年12月5日（金）に、盛岡市内の研修室において開催予定です。外部講師をお招きし、農地法及び農地関係法令についての講義をいただく予定です。



トマトの品種を解説する講師のお2人（写真左）



事例発表をする望月氏



受講生からの質問に回答する更科氏（右）